

英国南部旅行(1999)

その7: チェスター周辺(1)

7月25日(日)

今日はホテルのすぐ北側にあるグッドウッドハウス(Goodwood House)から丘陵地帯を越え、北東方向にあるペットワース(Petworth)へペットワースハウス(Petworth House)そこからまた丘を越えて戻り、ボックスグロブ小修道院(Boxgrove Priory)を経由して、チェスター市内へと向かい散策した。

グッドウッドハウスはリッチモンド公爵の住居で一般に公開されている。残念ながら公開は午後からで中へ入ることは出来なかったが下左の写真のように広々とした庭園の中にあり、すばらしい絵画なども展示されていると言う。



次の目的地ペットワースではペットワースハウス(左の写真)と言う17世紀後期のすばらしい建物とターナーなどの絵画の展示見る目的で言ったが、ここも午後からの開館で見ることができなかった。上の右側の写真はペットワースの中心地

で撮ったものである。丘の上にある小さな場所でアンティークの店がひしめく一方通行の道路を使って到達した。下の左の写真はペットワースへの往復に使った道路の丘陵地帯付近の景色である（パンフレットから）。下の右の写真は次に訪問したところはボックスグロ



ブ小修道院である。Lambert Barnard の 16 世紀の天井画とヴィクトリア女王時代のステンドグラスなどのある礼拝堂とベネディクト会修道院の廃墟があるが人の気配は全く感じられなかった。次に、チチェスターの町の中心へ行った。



上の写真はチチェスターの中心にある大聖堂です。建物は 11 世紀のロマネスク様式に伝統的な初期の英国様式が加えられ後のゴシック様式が加えられたものです。また、11～12 世紀から今日に及ぶ数々の芸術作品が展示されています。勿論 900 年以上も続いてきた礼拝の場所でもあります。右の写真は大聖堂のそばの十字路の中央にありチューダー様式の Market Cross で、ここを中心として東西南北の道路は歩行者専用となっていた。次のページの写真はグッドウッド競馬場でホテルの北にありチチェスターの中心部からホテルへ向かう道路から白い三角形の建物が丘の上に見えた。

明日は東方のブライトン(Brighton)まで往復する予定である。

